

新庁舎建設特別委員会の概要（第50回）

1 日 時 第50回 令和7年9月30日（火）
13時30分～14時51分

2 場 所 第1議会委員会室

3 出 席 全委員

4 内 容
1 説明会の開催を受けて
2 その他

市民への説明会の開催を受けて、それぞれ意見と今後どのように議会として、議論を進めていくかの協議を行った。

1 説明会の開催を受けて

【委員会で出た主な意見】

〈委員〉YouTubeと説明会の会場で、全部の意見を聞くことができた。思いの強い方がプラザちゅうたい案に対する懸念を上げていた印象である。やはり早く進めなければいけないといけない、この状況が良くないと理解している市民もいた。執行部も議員も意見を聞けたことはよかった。

〈委員〉3回参加し、説明会を開催してよかったと思っている。白紙にした市長の声を届けてほしいという気持ちがあり、当初30分であったところ50分を超える程熱のこもった説明をしてもらえたことは評価できる。厳しい意見も聞くことができた。

〈委員〉説明会を開催したことには大きな意味があったが、同じ場所でもう一度提案する説明は不足しており、メリットがとても大きいということに関して、この説明では弱い。反対する理由は説明しているが、賛成している議員の理由もまとめてほしい。

〈委員〉議員もそうであるが、持論を語ってなかなか前進できない。市長が約50分かけて説明し、質問に対してもきちんと答えており、そこを認めていきたい。

〈委員〉市長自ら説明会を開催したことはよかった。市長が決めた政策であり、自分からしっかりと説明したことは市民にも伝わっているのではないか。賛成、反対、退席した議員の理由がわからないという市民もあり、各議員も個人それぞれ説明、議会報告チラシ等で周知してきたが、まだまだ伝わっていないなというところは、議会としても反省しなければいけない。

〈委員〉3回の説明会を聞いて、よくわかっている参加者とまだまだ分かっていない参

加者がいると感じた。国から出る補助金がキーポイントであり、どこまで担保できるかということの資料と発言はなかった。整備事業が半分以下で済んでしまうという大前提のもとに将来負担比率のグラフ、実質公債費比率の見通しになっている。実際、本当にそれを担保できるかどうかということを、強く言う市民もいる。

〈委員〉市長が白紙にしてから方針決定までの経緯を説明し、その思いの丈も分かったと思う。市民の様々な不安や疑問も聞くことができてよかったです。補助金は本当に出るのかが問題である。12月議会に上程するということだが、可決の場合と否決の場合の両方を議会として考えていく必要がある。体育館と図書館統合の説明はなかったが、使用できない期間等が決まっていない状況では今後課題になってくる。

〈委員〉会場で、市議会議員は地元の代表で出していくときに、そういった人の意見を聞いてもらわないといけないという発言があった。地元の人の意見を代表してこれからも意見を述べていく。

〈委員〉説明会は全体として成功したのではないか。まだまだ意見を言いたい人がいたと思うが、時間があり途中で切ってしまうことがあった。市民の中には議員の話をもっと聞きたいという声があり、今後どうするのか検討しなければいけない。

〈委員〉質問の内容を聞いていると3対1ぐらいでプラザちゅうたい案は納得できないという感じで受け取った。意見を書くところがあり、その集計でまた出てくると思う。印象に残ったのは市長の言葉で、「庁舎とまちづくりは関連はない。庁舎ができたからといって、その周りにまちづくりができるとは限らない。」という発言である。今まででは便利なところ、まちづくりのための庁舎ということを言っていたが、今回はっきりと明言したので、それが印象に残った。

〈委員〉様々な意見を持っている人が発言できる場があり、説明会は開催してよかったです。新庁舎と体育館は本来別問題である。建設時期だけであれば、現庁舎にすればよい。4つ残った案の中ではプラザちゅうたいに建て替えるということには合理性があるが、体育館を休館にすることは、本末転倒な話で今の状態ではどうなるか分からぬいため、賛成はしかねる。

〈委員〉説明会では執行部の意気込みや真摯な姿が見られた。今後のアンケート結果の結果を重視していきたい。

〈委員〉体育館、図書館のことがまだはっきり決まっておらず、見切り発車はできない。1階を駐車場にして止水シャッターで水を防ぐとうたっているが、1階を駐車場にすることは、信じられない。最終的には議会の議決であるが、市民をなおざりにして議会が責任を持って議決できるとは思わない。

〈委員〉12月に上程することは理解できる。説明会参加者の意見としては、何も聞いてなかった初めて聞いたという人はいたが、やれることはしっかりと市としてもやってきている。マスコミにも協力してもらい、感謝している。

○今後について

- ・アンケートを10月中旬に発送する。締め切りは10月30日。
- ・アンケート結果がまとまり次第、執行部より報告してもらう。